

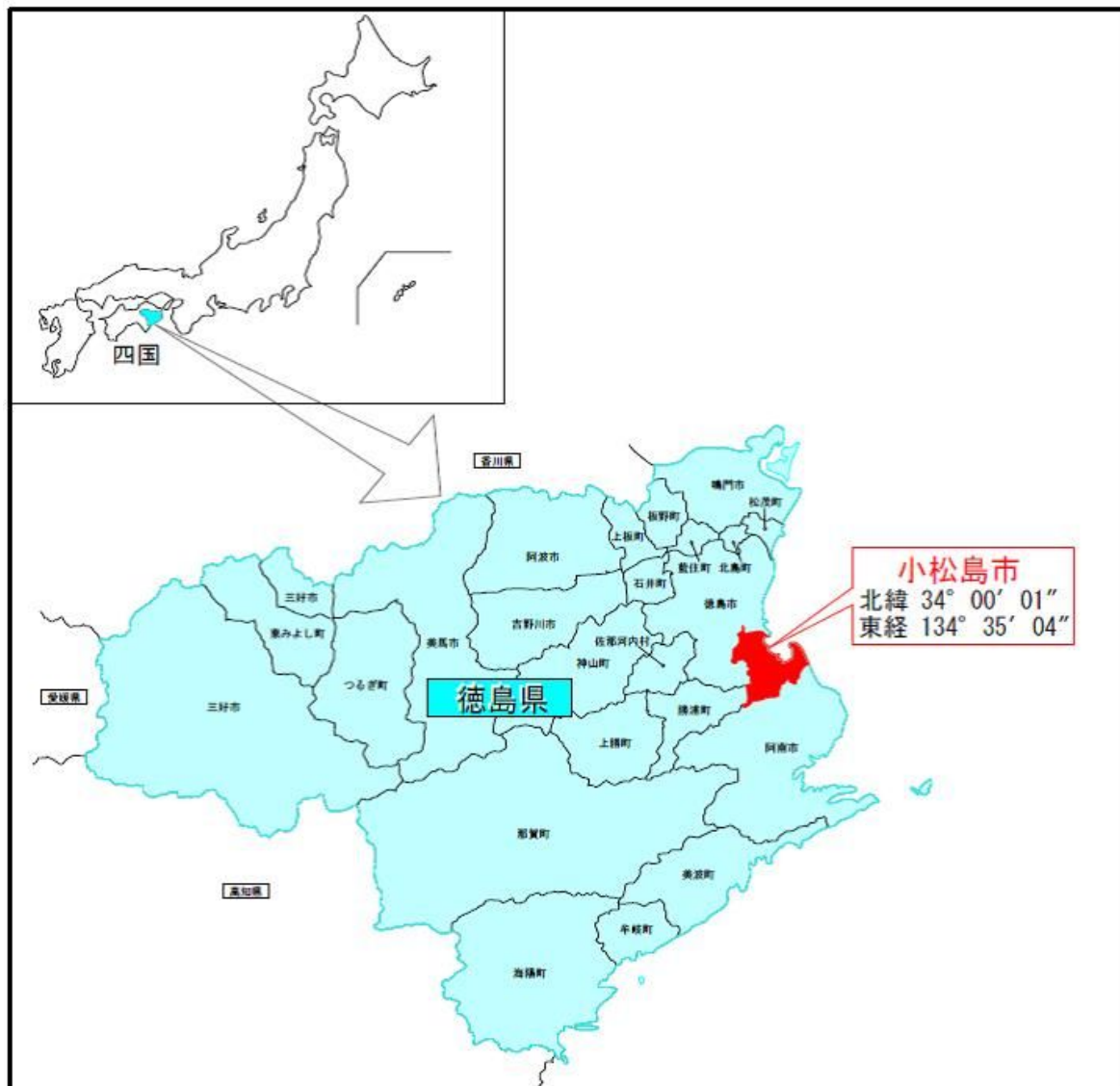
第1章 小松島市のみどりの現況と課題

1-1 小松島市の概況と特性

(1) 位置と地勢

小松島市は徳島県の東部、紀伊水道に面し、市域は東西9.1km、南北8.5kmとなっています。面積は45.30km²あり、埋め立てに伴い現在も少しずつ拡大しています。

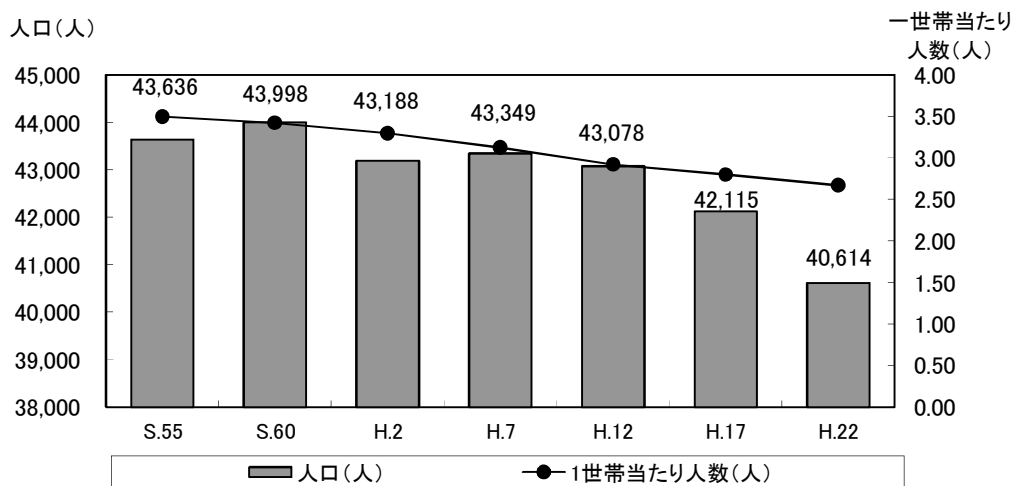
中心部は勝浦川の沖積による小松島平野と那賀川の沖積による立江・坂野平野が広がり、これらを取り囲むように、北には日峰山があります。北西部は県庁所在地である徳島市と接しており、西部は四国山系東端の丘陵地帯で勝浦町と接し、南部は勝浦町境の稜線からの丘陵が東南の肥沃な平野部に向かって延びており、阿南市と接しています。



(2) 人口及び世帯の推移

本市の人口は、住民基本台帳より平成27年3月31日現在39,866人、世帯数17,092世帯、世帯人員は2.33人/世帯となっています。

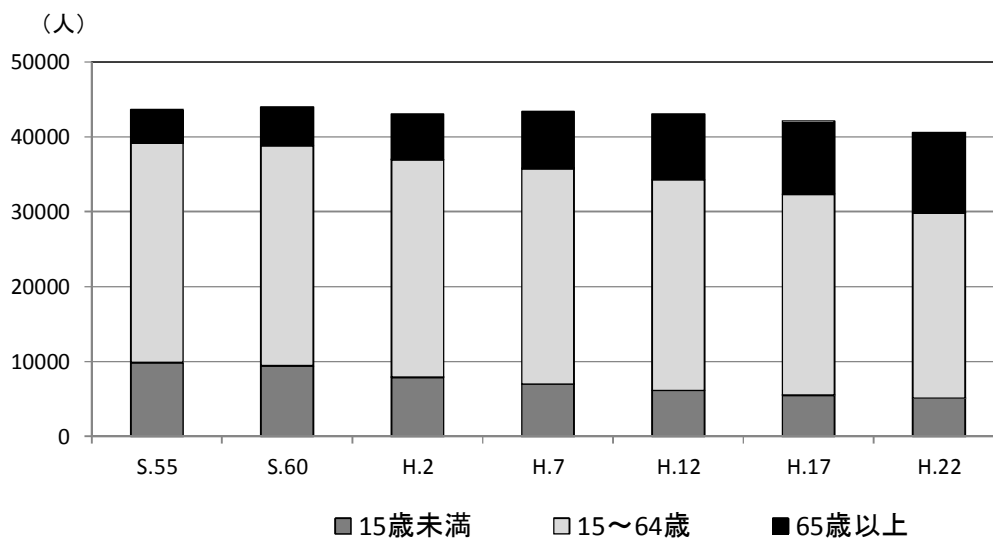
人口は近年、減少傾向となっている一方で、世帯数は増加し続けており、1世帯当たりの人員は減少傾向が続いています。



人口、1世帯当たり人員の推移（総務省統計局 国勢調査※）

(3) 年齢別人口の推移

本市の年齢別人口は、国勢調査によると昭和55年は15歳未満の割合が22.6%、15歳以上64歳以下の割合が67.2%、65歳以上の割合が10.2%となっていました。平成22年では15歳未満が12.6%、15歳以上64歳以下が61.1%、65歳以上が26.3%であり、少子高齢化が進んでいます。

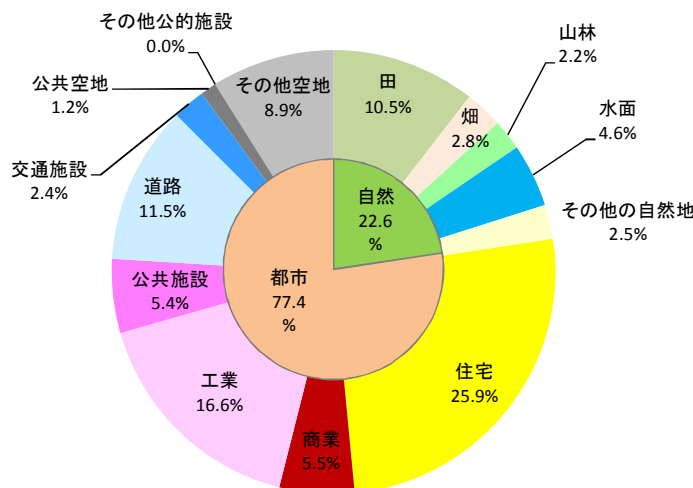


年齢別人口の推移（総務省統計局 国勢調査）

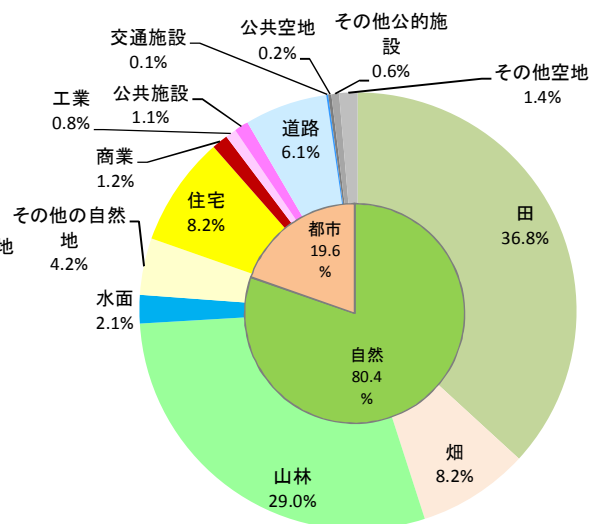
(4) 土地利用状況

本市の土地利用別面積は、市街化区域※では自然的土地利用204.5ha（22.6%）、都市的土地利用が699.6ha（77.4%）となっています。大部分が都市的土地利用であり、自然的土地利用のうち、田や畑の農地が13.3%と半数以上を占めています。一方、市街化調整区域※では、自然的土地利用2904.3ha（80.4%）と大半を占めており、田や畑の農地が45.0%となっています。

【市街化区域の土地利用状況】



【市街化調整区域の土地利用状況】



資料：平成 25 年都市計画基礎調査

1-2 小松島市のみどりの現況

(1) 市内の都市公園の整備状況

本市で供用している都市公園は、日峯大神子広域公園の1施設のみとなっています。日峯大神子広域公園は徳島市の大神子海岸から小松島市の日峰山麓にかけての紀伊水道に面し、風光明媚な海岸を活かした徳島県最大規模の都市公園です。公園面積全体は23.0ha(小松島市分)ですが、平成28年4月現在の供用面積は7.3haとなっています。なお、小松島市運動公園はその位置等について都市計画決定されていますが、整備未着手のまま現在に至っています。



(2) 市内のその他の公園の整備状況

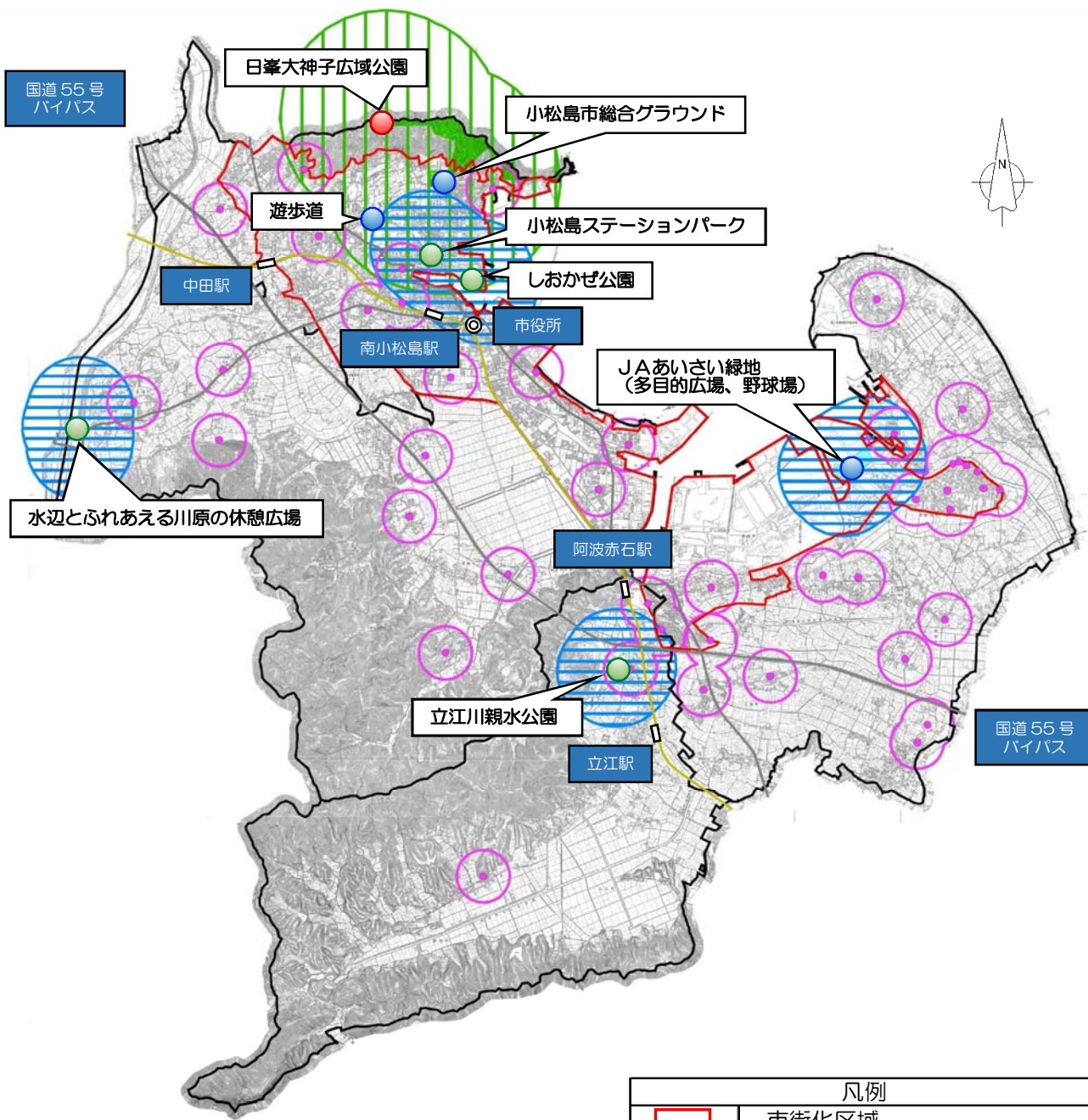
その他の公園は、市街化区域には小松島ステーションパーク、しおかぜ公園、JAあいさい緑地の3施設、市街化調整区域には立江川親水公園、水辺とふれあえる川原の休憩広場の2施設があります。

また、児童公園が市街化区域に24か所、市街化調整区域に19か所、合計43か所が整備されており、自転車歩行者専用道路は中田38号線の1か所、ポケットパーク※は県道宮倉徳島線(136号)、県道徳島小松島線(120号)、千歳橋南地区公園の3か所が整備されています。

【その他公園の整備状況】

| 区分 | 市街化区域 合計 | | 市街化調整区域 合計 | | 市全体 | |
|------------|-------------|---------|---------------|---------|-----|---------|
| | か所 | 面積 (ha) | か所 | 面積 (ha) | か所 | 面積 (ha) |
| 公共施設緑地 | 3 | 9.75 | 2 | 1.13 | 5 | 10.88 |
| 自転車歩行者専用道路 | 1 | 1.08 | 0 | 0.00 | 1 | 1.08 |
| 児童公園 | 24 | 1.45 | 19 | 0.72 | 43 | 2.17 |
| ポケットパーク | 1 | 0.01 | 2 | 0.10 | 3 | 0.11 |
| 合計 | 29 | 12.29 | 23 | 1.95 | 52 | 14.24 |

(3) 市内の公園配置図



| 凡例 | |
|----|-------------|
| | 市街化区域 |
| | 4地域区分 |
| | 鉄道 |
| | 国道・主要地方道・県道 |
| | 児童公園 |
| | 都市公園 |
| | 市内の主な公園・緑地 |
| | 運動できる公園・緑地 |
| | 公園誘致圏 1000m |
| | 公園誘致圏 500m |
| | 公園誘致圏 250m |

(4) 市内の景観資源

本市には清流やみどり豊かな山林、美しく穏やかな海浜などの自然景観のほか、地域の歴史・文化を感じる街並みや社寺など多様な景観資源を有しており、主な景観資源としては次のようなものがあります。

① 日峯大神子広域公園



阿波三峯のひとつである日峰山は、標高191.6mで市の北端、徳島市との境に位置しています。山頂からは小松島市内を眼下に、東は紀伊水道を経て和歌山地方を遠望でき、西は勝浦川の流れの向こうに徳島市が見えます。また、山頂からは市街を一望できることから、多くの人々が訪れる場所となっています。

② 恩山寺



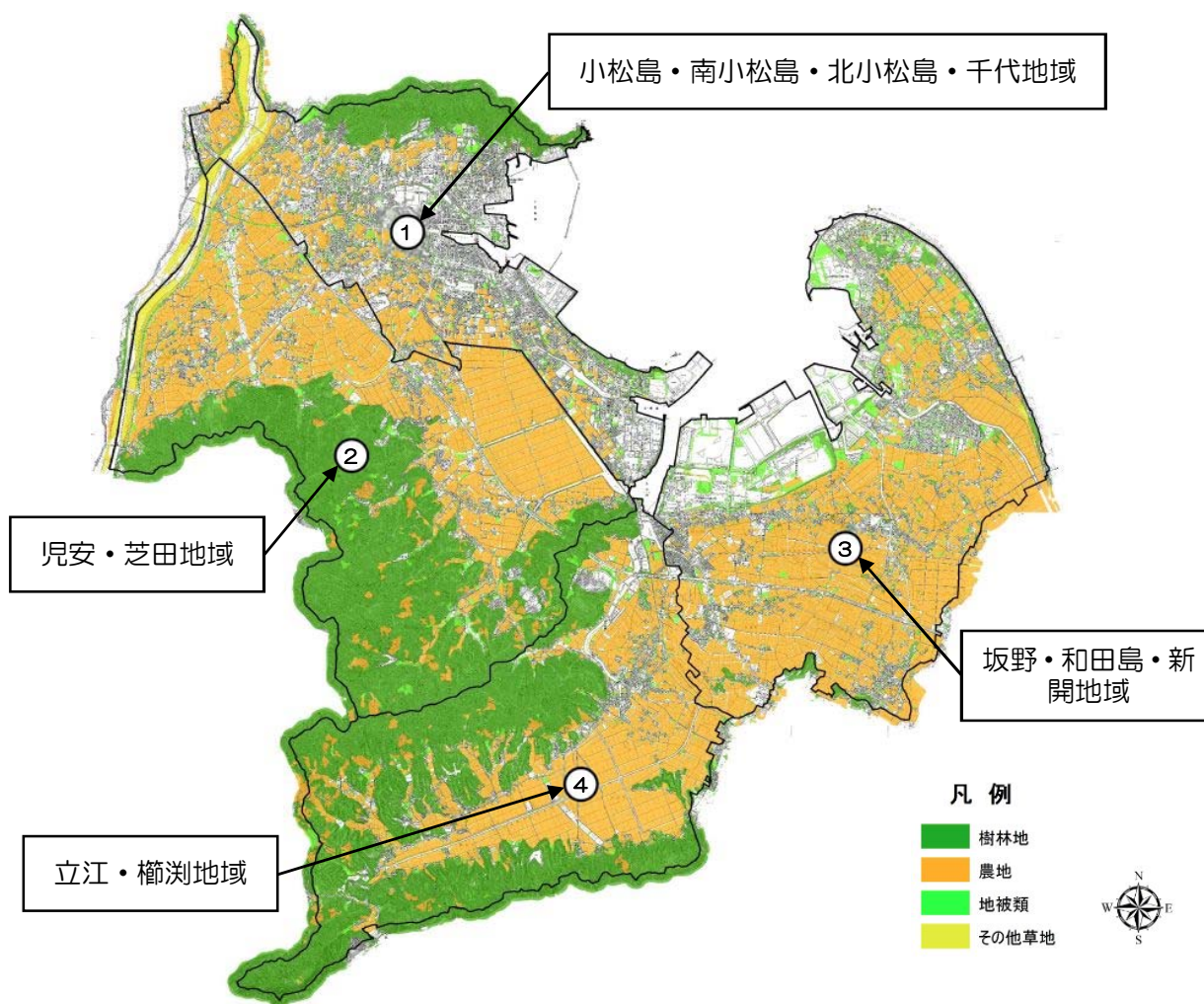
四国八十八箇所霊場第18番札所である「恩山寺」は、その裏山一帯が自然公園となっています。また、大山門のそばには「ピランジュ」（県指定天然記念物、バクチノキの異称）がそびえており、周辺一帯は、歴史的で風格ある景観が形成されています。

(5) 市内の緑被[※]の状況

市全域の緑被面積は、3,133.2ha、緑被率[※](市全体面積に対する緑被面積の割合)は69.2%となっています。緑被の内訳としては樹林地が1,333.9ha(29.4%)、農地が1,582.1ha(34.9%)、地被類が157.9ha(3.5%)、その他草地在が59.3ha(1.3%)となっています。

地域別の緑被率は、立江・櫛淵地域が最も高く83.8%、次いで児安・芝田地域が83.0%、坂野・和田島・新開地域が59.1%、小松島・南小松島・北小松島・千代地域が40.0%でした。

| 地域名称 | 地域面積 (ha) | 樹林地 | | 農地 | | 地被類 | | その他草地在 | | 緑被地 | |
|----------------|--------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|
| | | 面積 (ha) | 割合 (%) | 面積 (ha) | 割合 (%) | 面積 (ha) | 割合 (%) | 面積 (ha) | 割合 (%) | 面積 (ha) | 割合 (%) |
| ①小松島・南小松島・北小松島 | 798 | 131.90 | 16.53 | 140.04 | 17.55 | 29.24 | 3.66 | 18.30 | 2.29 | 319.48 | 40.03 |
| ②児安・芝田 | 1,375 | 563.25 | 40.96 | 512.31 | 37.26 | 37.03 | 2.69 | 28.67 | 2.09 | 1,141.26 | 83.00 |
| ③坂野・和田島・新開 | 1,224 | 83.21 | 6.80 | 564.83 | 46.15 | 70.25 | 5.74 | 4.55 | 0.37 | 722.84 | 59.06 |
| ④立江・櫛淵 | 1,133 | 555.50 | 49.03 | 364.95 | 32.21 | 21.37 | 1.89 | 7.76 | 0.68 | 949.58 | 83.81 |
| 合計 | 4,530 | 1,333.86 | 29.44 | 1,582.13 | 34.92 | 157.89 | 3.49 | 59.28 | 1.31 | 3,133.16 | 69.16 |



1-3 市民アンケート調査

(1) アンケート調査概要

① 調査目的

本計画を策定するにあたり、市内のみどりの現状や課題、今後のみどりの保全と緑化の推進の方向性等を検討する目的で市民アンケート調査を実施しました。

② 調査の概要

| | |
|------|--|
| 対象者 | 16歳以上の市民から無作為に抽出 |
| 対象人数 | 2,000人 |
| 調査方法 | アンケート調査票を郵送で配布し、回収 |
| 調査期間 | 平成27年8月11日～平成27年8月26日 但し、平成27年9月7日までに回収した調査票も反映しています。 |

③ 回収数

| | |
|-------|---------|
| 配布数 | 2,000 票 |
| 回収数 | 573 票 |
| 白票 | 1 票 |
| 有効回収数 | 572 票 |
| 有効回収率 | 28.6 % |

④ 取りまとめ方法

- 単数回答（選択肢の中から1つだけ回答する）に複数回答が含まれていた場合は、集計に複数回答を反映しました。よって、回答割合が100%より大きい項目があります。
- 自由記述回答は、同じ種別・内容ごとに取りまとめました。
- 白票は、無回答となっているため、有効回答数から除外しました。
- 小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(2) 調査結果の概要

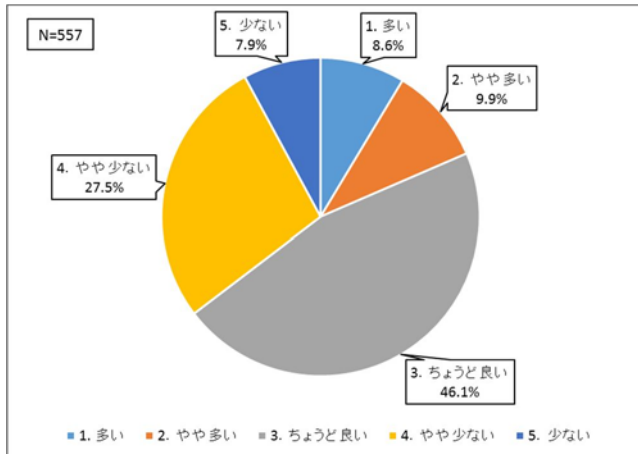
調査結果は次頁以降、主な項目ごとに取りまとめました。

① 小松島市のみどりについて

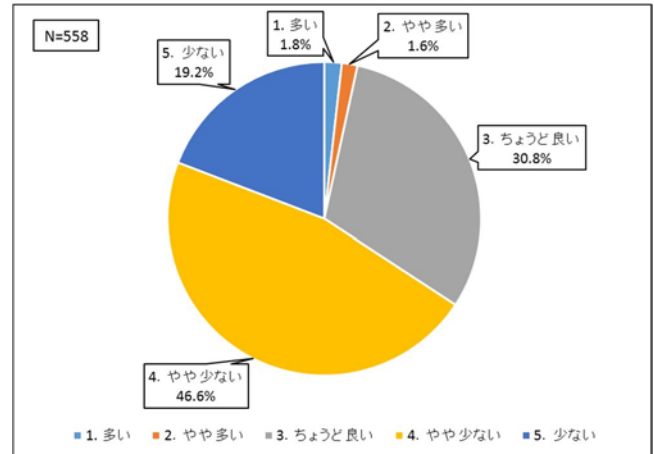
小松島市全体のみどりの量について、「多い・やや多い」が18.5%、「ちょうど良い」が46.1%、「やや少ない・少ない」が35.4%でした。

一方、まちなか（市街地）のみどりの量について、「多い・やや多い」の割合が3.4%、「ちょうど良い」の割合が30.8%、「やや少ない・少ない」の割合が65.8%でした。

【市全体のみどりの量について】

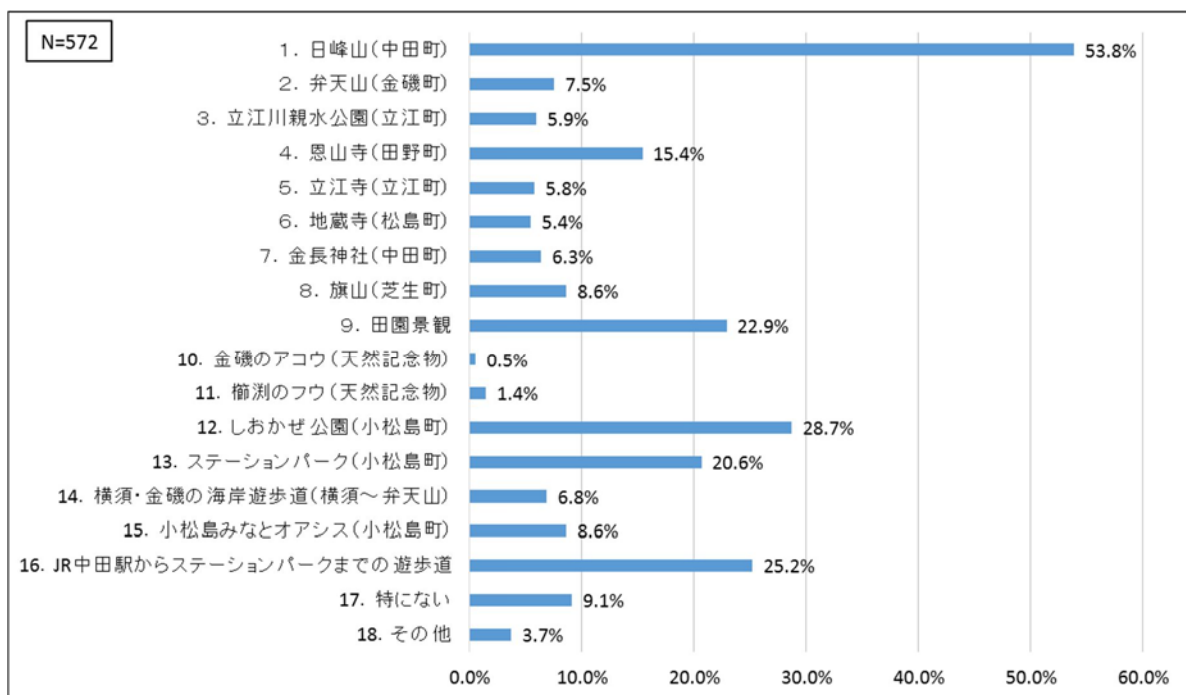


【まちなかのみどりの量について】



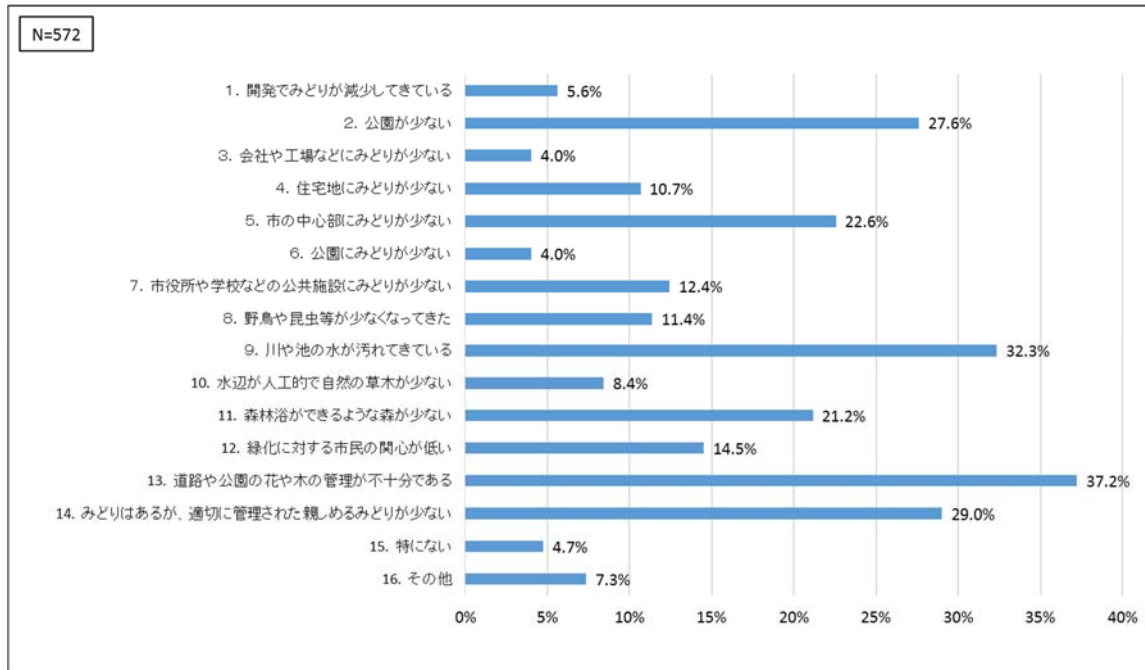
② 小松島市のみどりや景観で気に入っている場所

小松島市のみどりや景観で気に入っている場所について、「日峰山（中田町）」が53.8%、次いで「しおかぜ公園（小松島町）」が28.7%、「JR中田駅からステーションパークまでの遊歩道」が25.2%となっています。



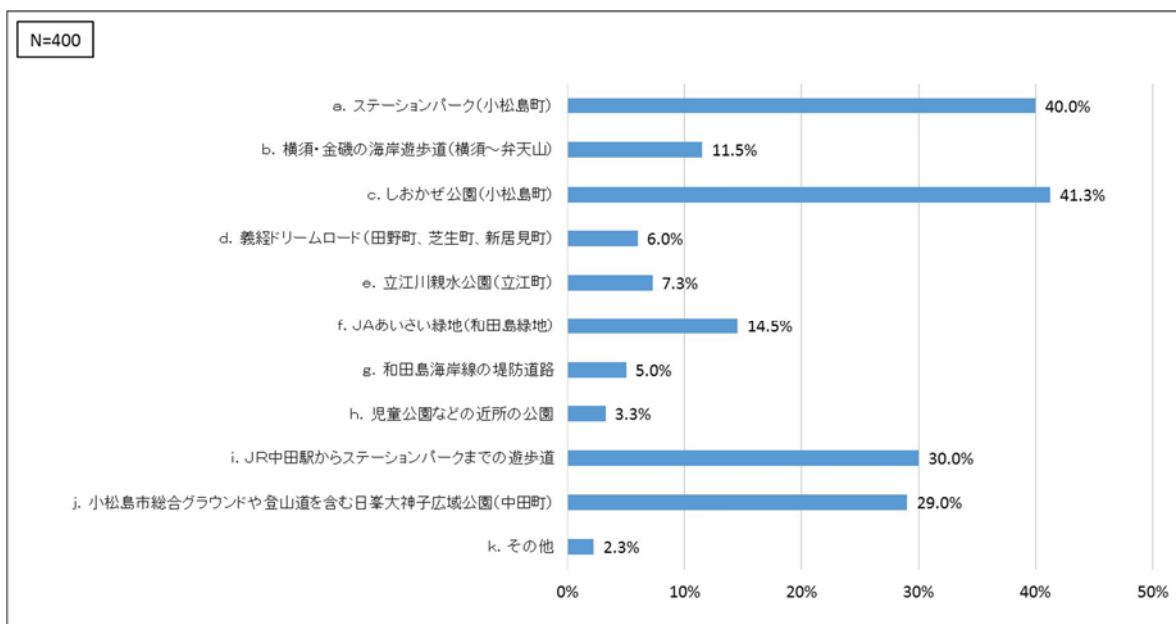
③ 小松島市のみどりの現状で気になるところ

小松島市のみどりの現状で気になるところについて、「道路や公園の花や木の管理が不十分である」が37.2%、次いで「川や池の水が汚れてきている」が32.3%、「みどりはあるが、適切に管理された親しめるみどりが少ない」が29.0%となっています。



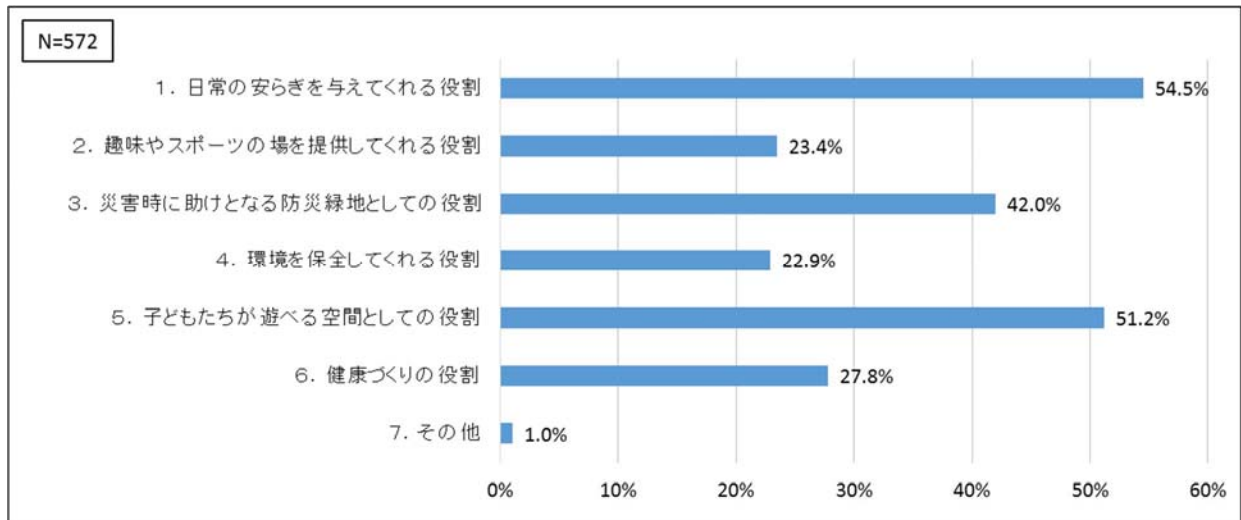
④ よく利用する公園・緑地

利用することが多い公園・緑地について、「しおかぜ公園（小松島町）」が41.3%、次いでステーションパーク（小松島町）が40.0%、「JR中田駅からステーションパークまでの遊歩道」が30.0%となっています。



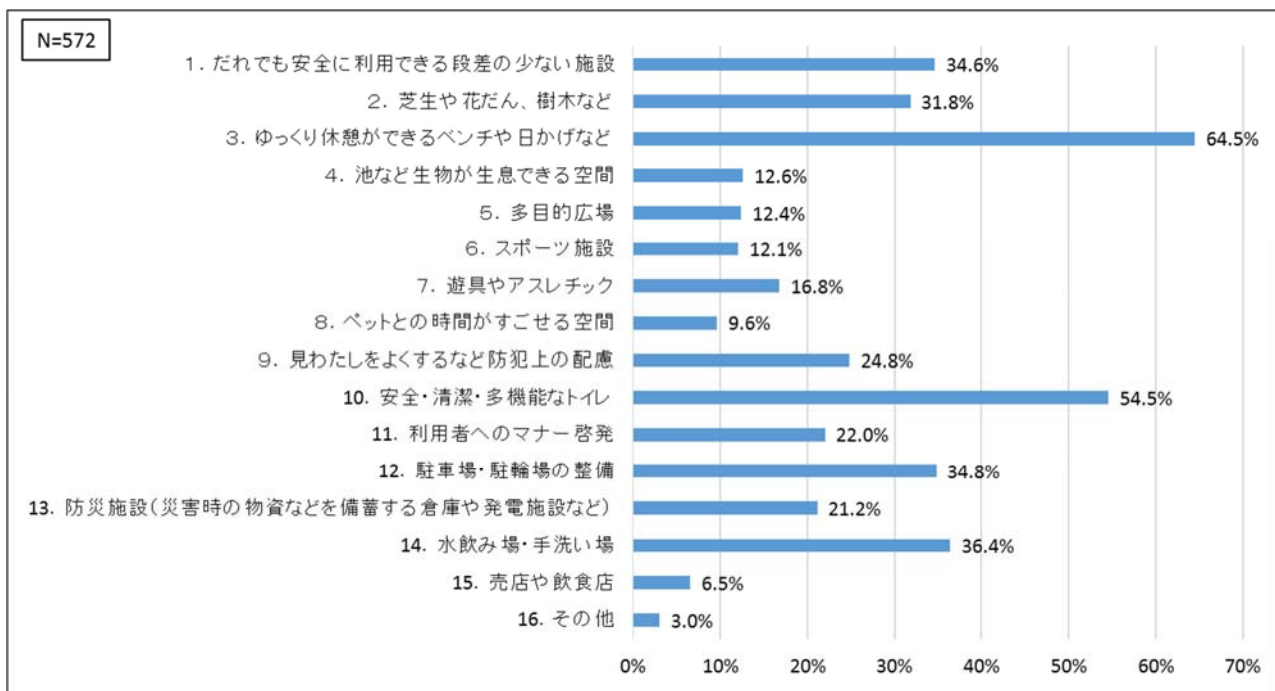
⑤ 今後の公園に期待する役割

今後の公園に期待する役割について、「日常の安らぎを与えてくれる役割」が54.5%、次いで「子どもたちが遊べる空間としての役割」が51.2%、「災害時に助けとなる防災緑地*としての役割」が42.0%となっています。



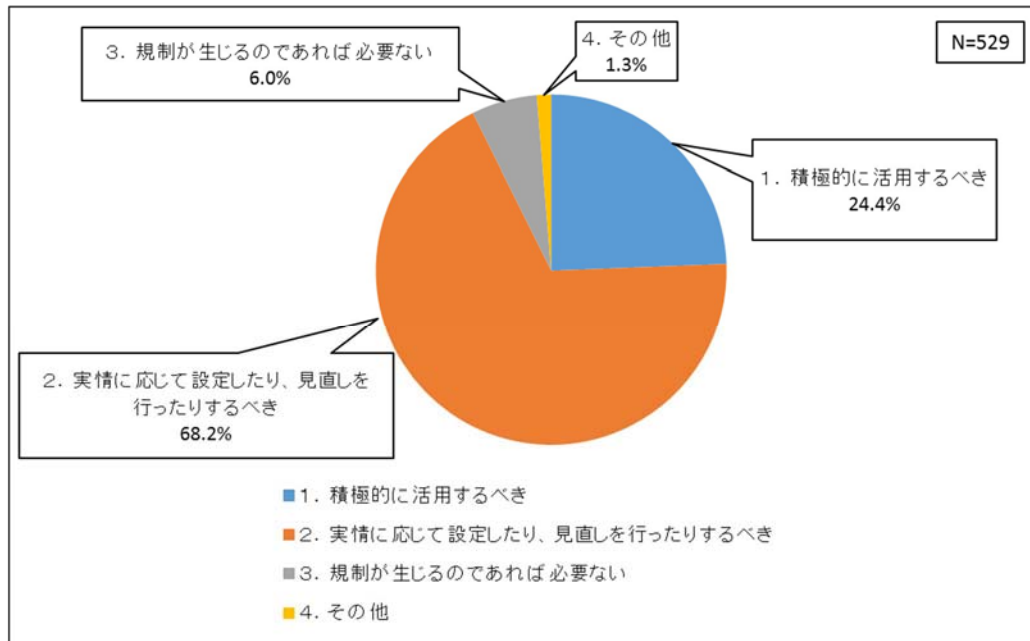
⑥ 公園に必要なと思うもの

今後の公園に必要なものについて、「ゆっくり休憩ができるベンチや日かげなど」が64.5%、次いで「安全・清潔・多機能なトイレ」が54.5%、「水飲み場・手洗い場」が36.4%となっています。



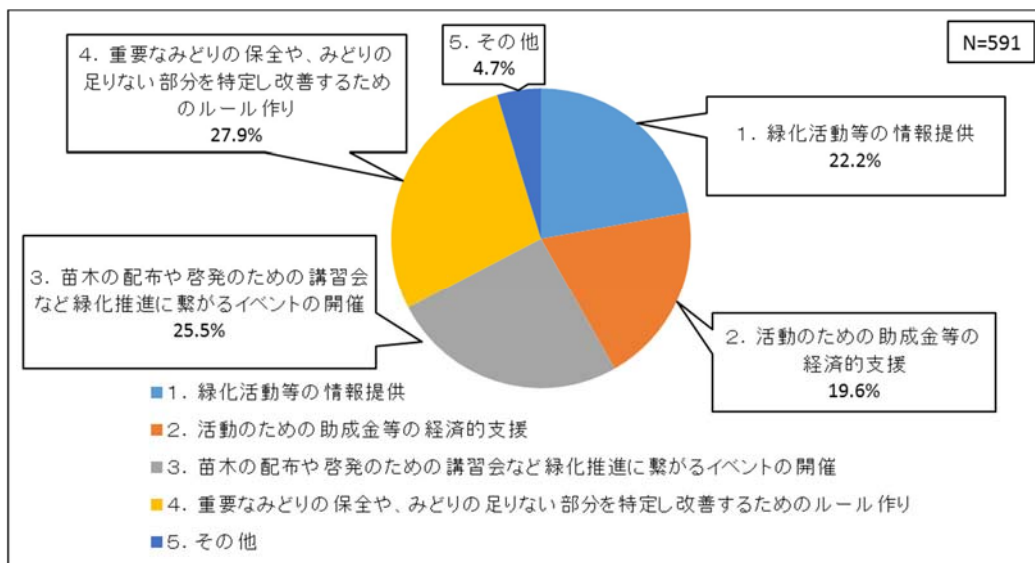
⑦ みどりを守る・増やすための制度の活用

風致地区※などの制度を活用することについて、「実情に応じて設定したり、見直しを行ったりするべき」が68.2%、次いで「積極的に活用するべき」が24.4%、「規制が生じるのであれば必要ない」が6.0%となっています。



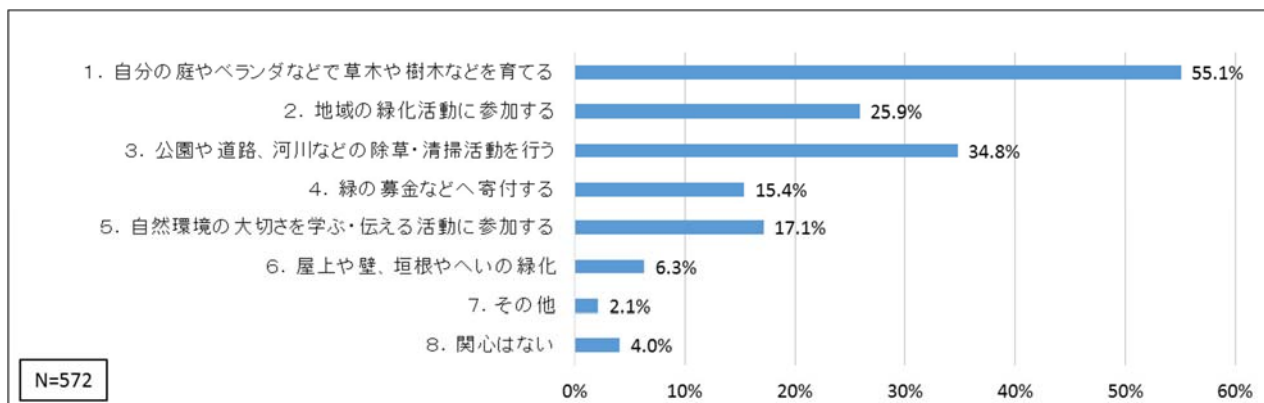
⑧ みどりを守る・増やすための活動や公園整備等に関心を持つための取り組み

みどりを守る・増やすための活動や公園整備等に興味を持ってもらうための行政の取り組みについて、「重要なみどりの保全や、みどりの足りない部分を特定し改善するためのルール作り」が27.9%、次いで「苗木の配布や啓発のための講習会など緑化推進に繋がるイベントの開催」が25.5%、「緑化活動等の情報提供」が22.2%となっています。



⑨ みどりを守る・増やすために、取り組んでみたいこと、取り組んでもいいと思うこと

緑化・保全のために取り組んでみたいことについて、「自分の庭やベランダなどで草木や樹木などを育てる」が55.1%、次いで「公園や道路、河川などの除草・清掃活動を行う」が34.8%、「地域の緑化活動に参加する」が25.9%となっています。



(3) アンケート結果から見えてくる主な課題

- i 市全体のみどりの量について少ないと感じる人は約3割であるのに対し、市街地のみどりが少ないと感じる人は約7割と多くなっています。
- ii 市民が気に入っているみどりや景観は、日峰山に次いで、市街地の公園や田園風景といった身近な景観となっています。
- iii 市内のみどりに対して、新たにみどりを増やすよりも今あるみどりについて、適切な管理により活用することが望まれています。
- iv よく利用する公園・緑地等は、市街地中心部の公園が多くなっており、利用方法は「散歩やジョギングをしたり休憩したりする」が多くなっています。
- v 公園に期待する機能として、日常的なやすらぎなどの心理的効果や、子どもたちが遊べる空間など、身近なレクリエーションとしての機能が期待される一方で、災害時などの非常時にも機能する多面的な役割が求められています。
- vi 風致地区等、みどりを守る制度についても、実情に応じて見直しを図るべきとの意向が得られています。
- vii みどりに関する活動等について、自分の庭やベランダなどの緑化への取り組みに加え、地域の緑化活動や公園、道路、河川等の美化活動など社会参加（ボランティア活動）への意欲が比較的高くなっています。
- viii 自由記述では、約2割の人が「公園が少ない」と答えており、そのうち「子どもが遊べる公園が少ない・つくってほしい」と答えている人が約5割であり、子どもが遊べる公園が求められています。

1-4 小松島市のみどりの課題

1. 課題の整理及び抽出

(1) 課題の整理

緑の現況調査※、アンケート調査結果、策定市民会議における意見から、小松島市が抱える「みどりに関する課題」が明らかになってきました。この課題は、都市計画マスタープランと整合を図りつつ、小松島市全体の視点から抽出されるものと、地域ごとの視点から抽出されるものがあります。

市全体の視点として、みどりの量的・質的充足度や地域間のバランス、都市構造の変化や土地利用状況の変遷、今後の動向やみどりの持つ本来の機能などがあげられます。地域ごとの視点としては、各地域における土地利用形態の変化や住民のニーズなどがあげられます。

(2) 課題の抽出

本計画では、みどりに関する課題について、次の4項目に着目して抽出しました。

①環境保全機能について

優れた自然環境や歴史的風土、快適な生活環境、優良農林業地、自然との共生、都市環境負荷の軽減などの観点から課題を抽出します。

②防災機能について

南海トラフ巨大地震※などの地震に起因する津波や、土砂災害、集中豪雨による洪水等の自然災害に着目した観点から課題を抽出します。

③景観形成機能について

都市や地域を代表する優れた景観を保全する観点から課題を抽出します。

④レクリエーション機能について

自然とのふれあいやスポーツ、レクリエーションの場などの観点から課題を抽出します。

なお、上記の4項目に当てはまらない項目に関しては「その他」として分類しました。

2. みどりの課題

みどりの課題についての詳細をみどりの4機能（環境保全機能、防災機能、景観形成機能、レクリエーション機能）とその他の項目ごとにまとめました。

環境保全機能

① 市街地では、社寺林[※]や屋敷林[※]、街路樹などが身近なみどりで、緑被率は27.9%となっています。市民アンケートでは、市街地のみどりが少ないと感じる人が約7割という結果でした。市街地の緑被率をいかに向上させるかが課題となっています。

⇒ 市民アンケート結果、緑の現況調査より抽出

② 港湾部は、工場などの工業地帯で、工場緑地が主なみどりとなっており、緩衝緑地の確保などが課題となっています。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

③ 北部、西部の丘陵地帯及び横須・金磯海岸は、「農業振興地域・農用地区域[※]」、「地域森林計画対象民有林[※]」、「風致地区」等の指定により保全されている状況です。これらの小松島の骨格を形成するみどりの保全が課題となっています。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

④ みどりは多様な機能を有していますが、地域固有のものであり、みどりが地域の特性を演出しています。このため、地域の中でみどりを育む気運を高めることが課題となっています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケート結果、緑の現況調査より抽出

⑤ 市内のみどりに対して、新たにみどりを増やすことも重要ですが、今あるみどりについて適切に管理することも課題となっています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケート結果より抽出

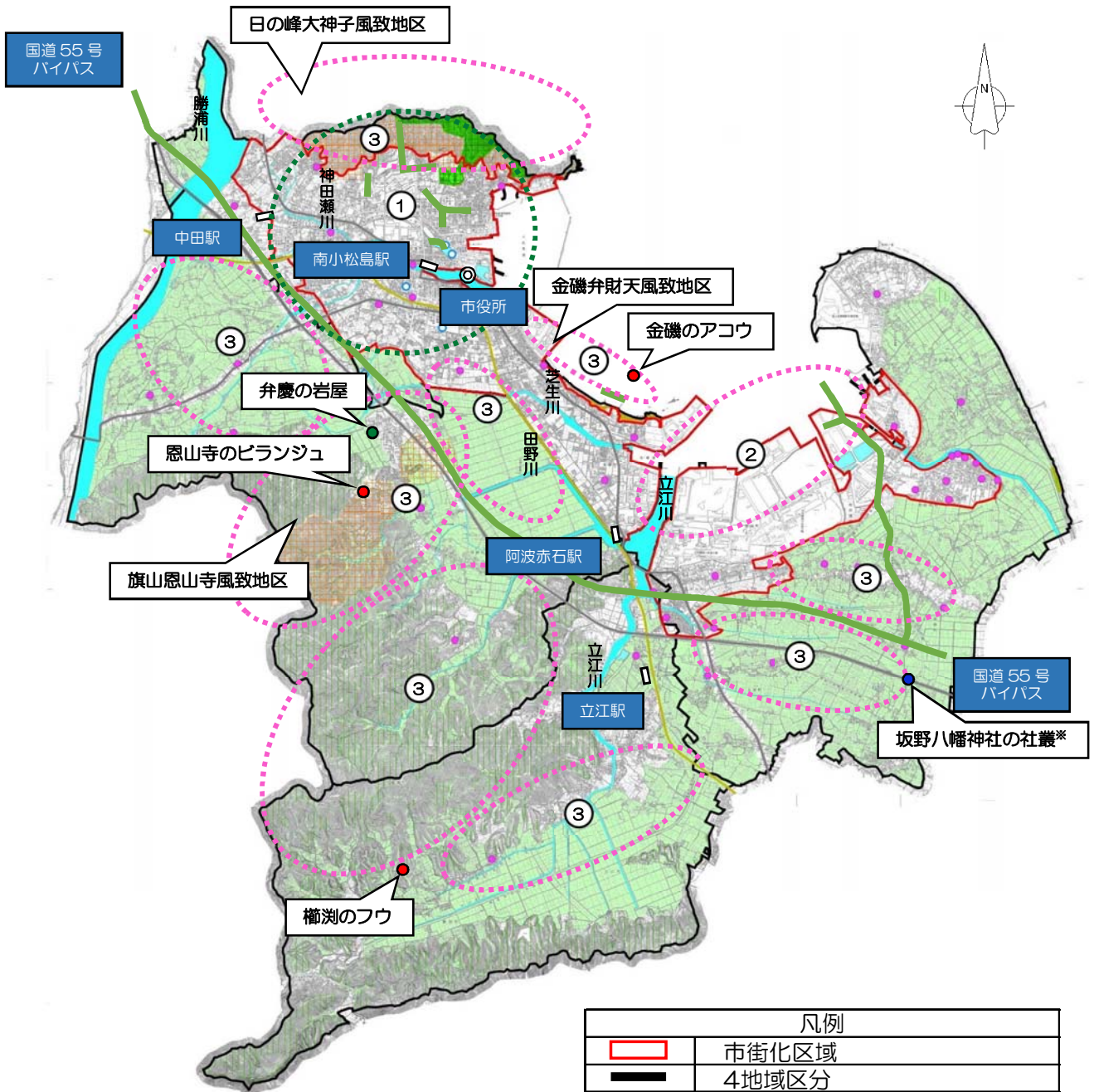
⑥ 市内のみどりの多くが民有地ですが、市民が主体的にみどりに関する活動に携われる仕組みが不十分となっています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケートより抽出

⑦ 市内外から親しまれている湧水、河川や水路の水環境をどのようにして守るかが課題となっています。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

環境保全機能 課題図



| 凡例 | |
|----|-----------------|
| | 緑の保全が課題となっている地域 |
| | 緑が少ない地域 |
| | 県指定 天然記念物 |
| | 県指定 史跡 |
| | 市指定 天然記念物 |

| 凡例 | |
|----|-------------|
| | 市街化区域 |
| | 4地域区分 |
| | 鉄道 |
| | 国道・主要地方道・県道 |
| | 植樹帯 |
| | 都市公園 |
| | その他公園 |
| | 児童公園 |
| | 風致地区 |
| | 地域森林対象民有林 |
| | 保安林区域 |
| | 農用地区域 |
| | 河川区域 |
| | 名水ポイント |

防災機能

- ① 本市の市街地は沿岸部にあり、南海トラフ巨大地震による広い範囲での津波被害が想定されています。また、近年では日本各地で局地的な大雨による被害が頻発しています。市民アンケートでは、今後の公園に期待する役割について、約4割の人が「防災緑地としての役割」と回答しています。公園・オープンスペース等が持つ防災機能の強化が課題となっています。

⇒ 市民アンケートより抽出

- ② 災害時に避難場所となるような公園・緑地等が不足している地域があります。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

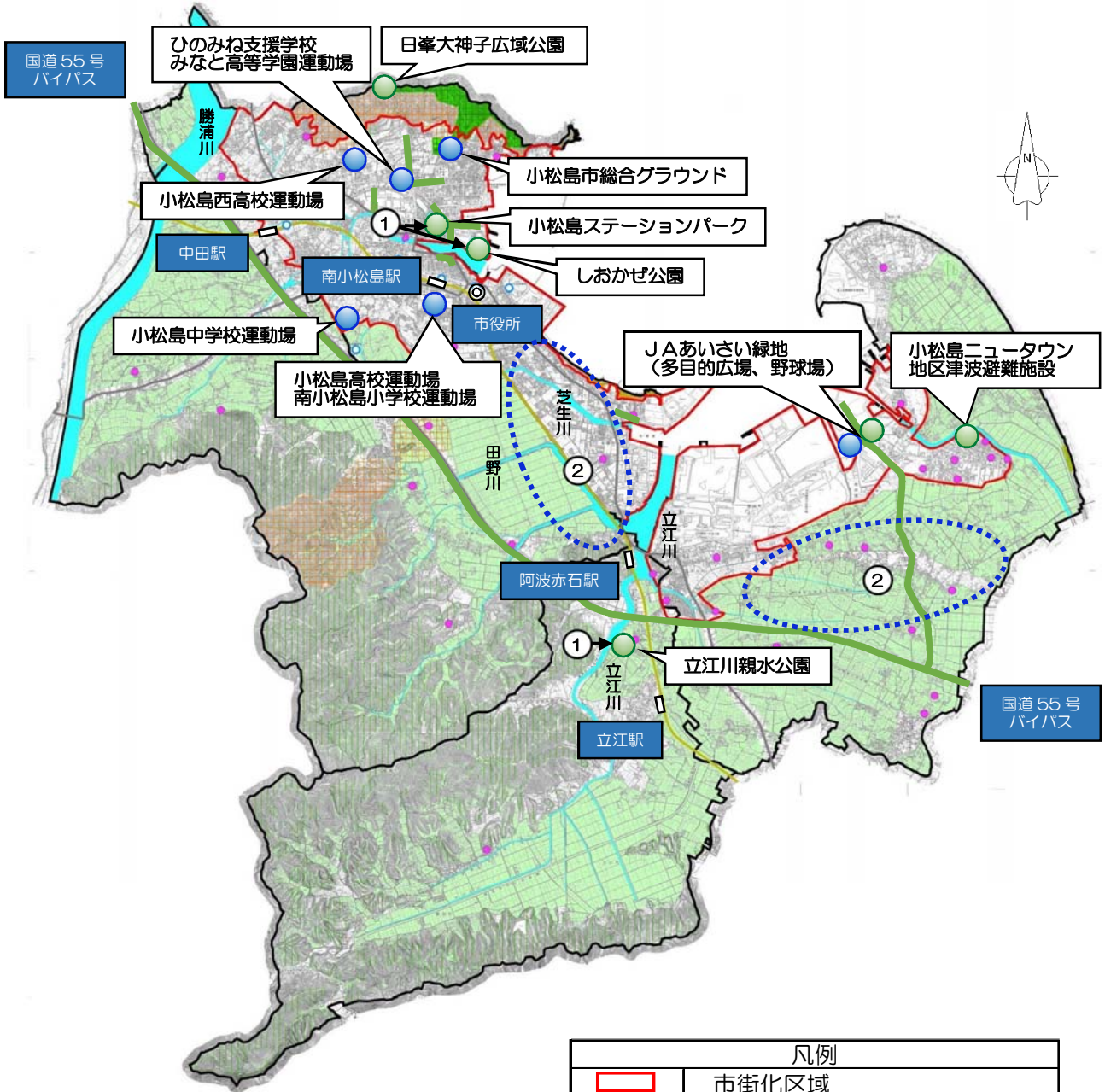
- ③ 平時の防災訓練や災害時の避難場所、復旧・復興活動の拠点として公園を利活用できるよう、地域の実状にあった防災機能を有する公園・緑地等の整備が課題となっています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケート、緑の現況調査より抽出

- ④ 公園・緑地等で市の防災機能の全てを賄うことは困難であるため、他の防災関連施策との連携を図ることが重要な課題となっています。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

防災機能 課題図



| 凡例 | |
|----|---|
| | 緑の防災拠点 (市内の主な公園) |
| | 広域避難場所 (地域防災計画より) |
| | 避難場所となるような公園・ 緑地が不足している地域 (都市計画マスタープランでは、 防災レクリエーション拠点検討 地域としている) |

| 凡例 | |
|----|-------------|
| | 市街化区域 |
| | 4地域区分 |
| | 鉄道 |
| | 国道・主要地方道・県道 |
| | 植樹帯 |
| | 都市公園 |
| | その他公園 |
| | 児童公園 |
| | 風致地区 |
| | 地域森林対象民有林 |
| | 保安林区域 |
| | 農用地区域 |
| | 河川区域 |
| | 名水ポイント |

景観形成機能

① みどりは地域の固有の文化や歴史等と深く関わっており、市の景観として、四国八十八箇所霊場の恩山寺などの寺院や日峰山、義経ドリームロード[※]、横須・金磯などの沿岸部といった郷土を代表する景観、市内に点在する社寺、屋敷林と一体となった住宅、港町の風景といった身近な景観があげられます。これらを保全・利活用し、個性と魅力ある地域づくりを進めていくことが課題となっています。

⇒ 市民アンケート結果、緑の現況調査より抽出

② 市民アンケートにおいて、田園風景を気に入っているとの回答がありました。市街地を取り囲むように広がる優良農地は、郷土を代表する田園風景として、保全することが課題となっています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケート結果より抽出

③ 工業地帯となっている港湾部は、都市的景観を持っています。みどりによる景観向上が課題となっています。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

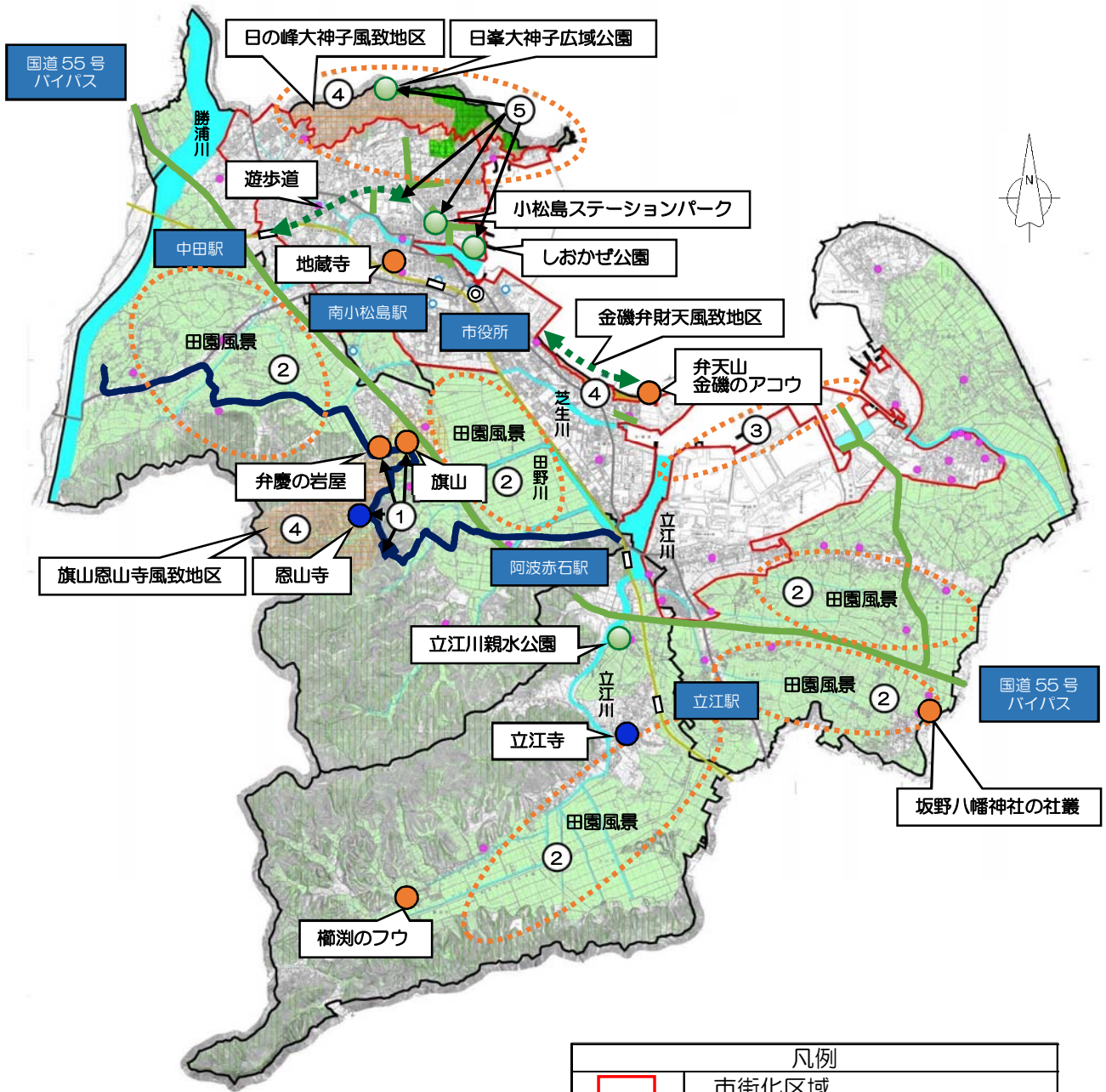
④ 風致地区については、その制度によって良好な景観が維持されています。一方で、社会情勢の変化により、多様な土地利用を望む声もあります。

⇒ 市民アンケート結果、緑の現況調査より抽出

⑤ 小松島ステーションパークなど市民がよく利用する公園は、市街地の良好な景観を形成しています。引き続き、これらの景観を守っていくことが課題となっています。

⇒ 市民アンケート結果より抽出

景観形成機能 課題図



| 凡例 | |
|----|---------------|
| | 景観機能を持つ緑の拠点 |
| | 景観機能を持つ緑のライン |
| | 景観資源 |
| | 四国八十八箇所霊場 |
| | 史跡・名所・天然記念物など |
| | 義経ドリームロード |

| 凡例 | |
|----|-------------|
| | 市街化区域 |
| | 4地域区分 |
| | 鉄道 |
| | 国道・主要地方道・県道 |
| | 植樹帯 |
| | 都市公園 |
| | その他公園 |
| | 児童公園 |
| | 風致地区 |
| | 地域森林対象民有林 |
| | 保安林区域 |
| | 農用地区域 |
| | 河川区域 |
| | 名水ポイント |

レクリエーション機能

① 散歩やジョギングなどによる市民の健康増進に資するレクリエーション拠点の整備が求められています。

⇒ 市民アンケート結果より抽出

② 市民のニーズ、人口分布あるいは社会情勢に対応した公園施設機能を適切に配置することが課題となっています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケートより抽出

③ 現在、市民一人当たりの都市公園面積（1.8m²）は、市の条例で標準とする10m²に対して大きく不足しています。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

④ 市内に公園・緑地等が不足している空白地域があります。

⇒ 策定市民会議、緑の現況調査より抽出

⑤ 公園に期待する機能として、日常的なやすらぎなどの心理的効果や子どもたちが遊べる空間といった、身近なレクリエーションとしての機能など、公園機能の多様化が求められています。

⇒ 策定市民会議、市民アンケート結果より抽出

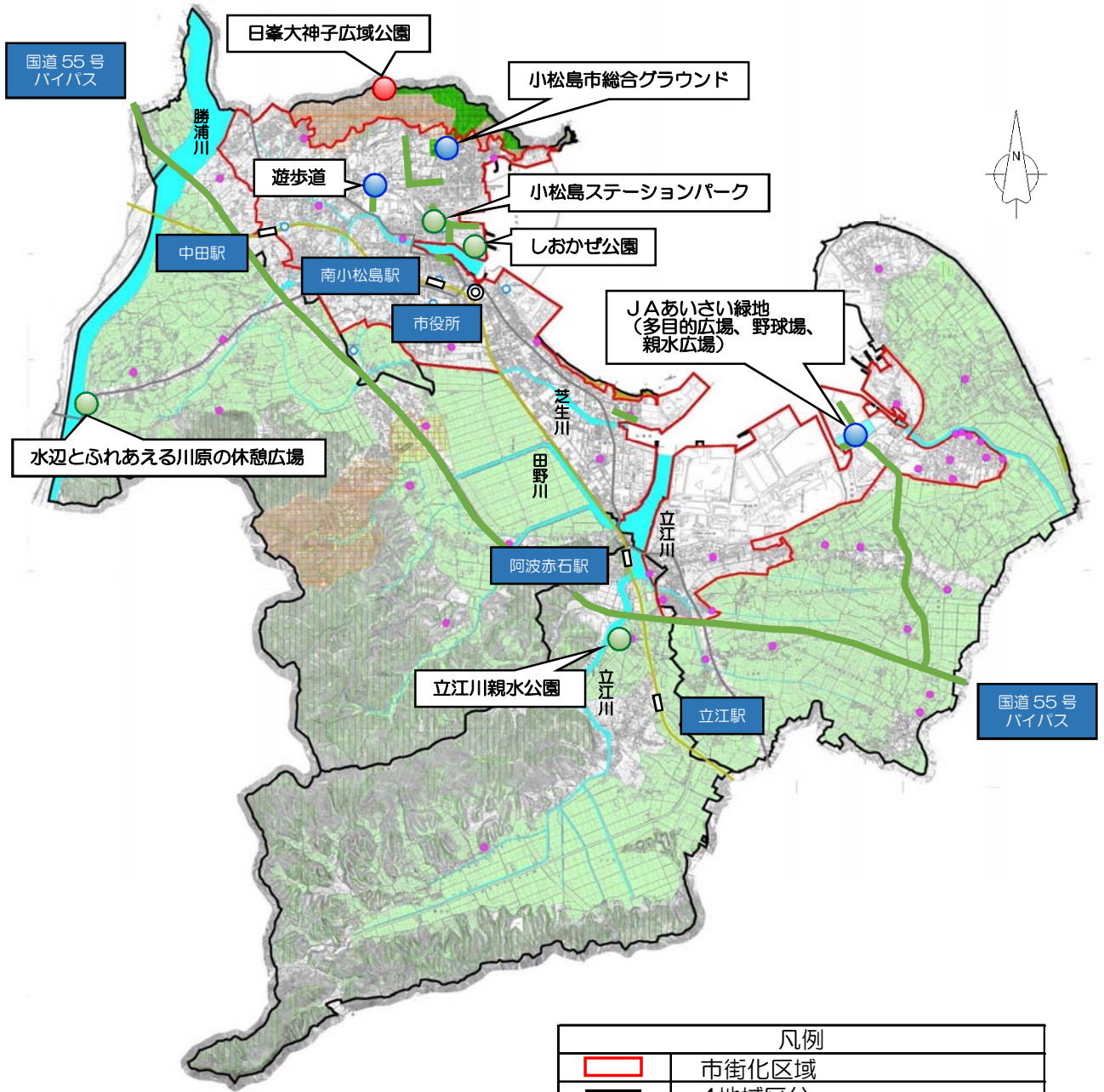
⑥ 公園等の公共施設において、利用者のマナー向上が求められています。また、ペットとともに利用できるような施設など、質の向上が求められています。

⇒ 策定市民会議より抽出

⑦ 今後、施策を推進していく中で、保健福祉部局や教育部局等、関連する部局との連携を図っていくことが課題となっています。

⇒ 策定市民会議より抽出

レクリエーション機能 課題図



| 凡例 | |
|-----------|------------|
| ● (Red) | 都市公園 |
| ● (Green) | 市内の主な公園・緑地 |
| ● (Blue) | 運動できる公園・緑地 |

| 凡例 | |
|-----------------|-------------|
| □ (Red outline) | 市街化区域 |
| — (Black) | 4地域区分 |
| — (Yellow) | 鉄道 |
| — (Grey) | 国道・主要地方道・県道 |
| — (Green) | 植樹帯 |
| ■ (Dark Green) | 都市公園 |
| ■ (Light Green) | その他公園 |
| ● (Pink) | 児童公園 |
| ■ (Orange grid) | 風致地区 |
| ■ (Green grid) | 地域森林対象民有林 |
| ■ (Yellow) | 保安林区域 |
| ■ (Light Green) | 農用地区域 |
| ■ (Cyan) | 河川区域 |
| ○ (Blue) | 名水ポイント |

その他

① 市民や企業等に対し、公園の場所やみどりに関する情報提供が不十分となっています。

⇒ 策定市民会議より抽出

② 長期未整備の都市計画公園*が計画区域内の開発・建築行為の規制となっています。また、供用中の都市公園も長期間経過し、施設の老朽化対策が課題となっています。

⇒ 緑の現況調査より抽出

③ 市民、企業、行政など多様な主体が参画（協同）して、みどりに関する施策に取り組むことが重要です。

⇒ 策定市民会議より抽出

④ アドプト事業*やボランティア団体が活動しやすい環境整備が課題となっています。

⇒ 策定市民会議より抽出

⑤ みどりを守り、増やす活動を継続していくための担い手の発掘・育成が課題となっています。

⇒ 策定市民会議より抽出

⑥ 安心・安全で快適な公園・緑地等とするため、適切な維持管理が課題となっています。

⇒ 策定市民会議より抽出